

奈良県の労働市場の動き（平成30年7月分）

- 有効求人倍率（季節調整値）は、1.48倍で、前月より0.01ポイント上昇しました。
- 全国は1.63倍で、奈良県は0.15ポイント下回りました。
- 近畿ブロックは1.60倍で、奈良県は0.12ポイント下回りました。
- 有効求人数（季節調整値）は、24,783人、前月より1.0%減少しました。
前年同月比では、39か月連続の増加となりました。
- 有効求職者数（季節調整値）は、16,783人、前月より1.2%の減少となりました。
前年同月比では、85か月連続の減少となりました。
- 新規求人倍率（季節調整値）は2.09倍でした。
前月より0.23ポイント下回りました。
- 新規求人数（季節調整値）は、8,425人、前月より7.7%の減少となりました。
前年同月比で、2か月ぶりの減少となりました。

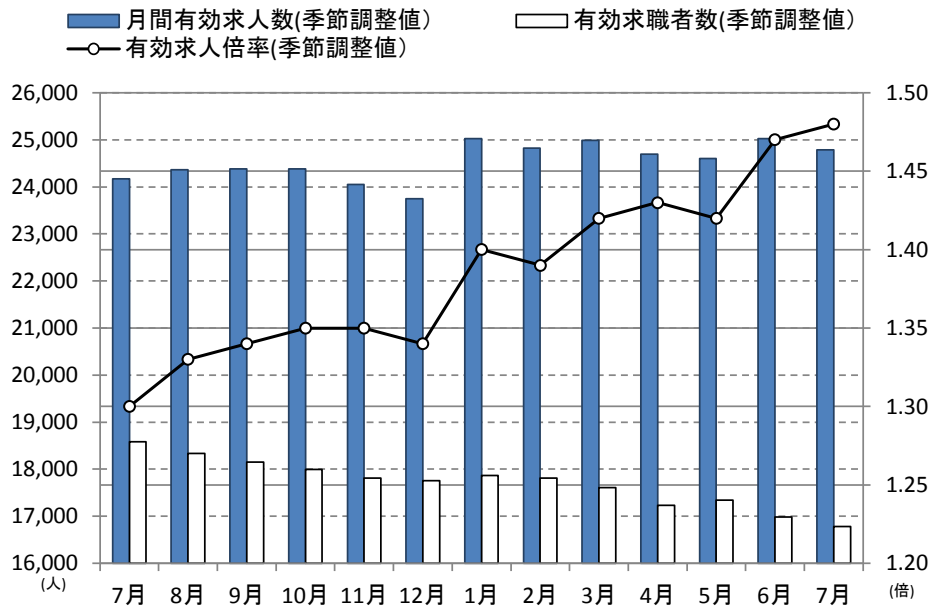
主要産業の新規求人状況を前年同月比で見ると、「建設業」、「製造業」、「運輸業、郵便業」、「卸売業、小売業」、「医療福祉」において増加し、「宿泊業、飲食サービス業」、「サービス業(他に分類されないもの)」で減少しました。

建設業(前年同月比7.5%増)、
製造業(同1.7%増)、
運輸業、郵便業(同46.8%増)、
卸売業、小売業(同3.7%増)、
宿泊業、飲食サービス業(同15.0%減)、
医療、福祉(同4.3%増)、
サービス業(他に分類されないもの)(同7.1%減)

- 新規求人数（原数値）のうちパート求人は4,237人でした。
パート求人の比率は48.1%でした。
- 新規求職者（季節調整値）は、4,024人で、前月より2.2%の増加となりました。
- 雇用保険受給資格決定件数は1,087件でした。
前年同月比で6.0%の増加となりました。
- 雇用保険受給者実人員は3,989人でした。
前年同月比で5.0%の減少となりました。

(注) 求人倍率(季節調整値)については、季節調整替えが行われ、平成29年12月以前の数値は改訂されております。季節調整法センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)により改訂。

月間有効求人・有効求職・有効求人倍率の動き(パートを含む)



今月の年齢階層別有効求人・有効求職状況(常用・パートを含む)

